

五辻通から 持明院大路へ



総合距離 約3.1km 所要時間 約1時間40分

一条通から北に広がったこの時代の京都には、五辻通という新しい中心ができます。後鳥羽上皇の御所がおかれ、『明月記』で有名な藤原定家の伝承も、この通りの周辺に多く見られます。

スタート	ゴール
<ul style="list-style-type: none"> 千本今出川 すぐ ● 藤原定家時雨跡 5分 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河原町今出川 徒歩3分 ● 藤原定家京極第跡 5分 ● 800m 10分 ● 同志社前 徒歩5分 ● 毘沙門堂跡 5分 ● 400m 5分 ● 鳥丸今出川 徒歩4分 ● 菊亭跡 5分 ● 50m 1分 ● 鳥丸今出川 徒歩4分 ● 持明院大路跡 5分 ● 500m 8分 ● 上京区総持戸倉前 徒歩8分 ● 宝慈院 10分 ● 300m 4分 ● 上京区総持戸倉前 徒歩7分 ● 持明院殿跡 10分 ● 1km 13分 ● 今出川浄福寺 徒歩3分 ● 五辻齋院御所跡 5分 ● 150m 2分 ● 今出川浄福寺 徒歩3分 ● 五辻殿跡 5分 ● 150m 2分 ● 千本今出川 すぐ

上京 鎌倉時代



藤原定家の世界を歩く

鎌倉時代の上京は、北野社から東にはしる五辻通と、持明院大路（現在の立売通）およびその東の延長にあたる毘沙門堂大路を中心に発展します。鎌倉時代の歌人を代表する藤原定家の伝承がその両端にあり、西には鳥羽天皇皇女の五辻齋院御所や、後鳥羽院の五辻殿がつくられ、東には平親範にちなむ毘沙門堂が建てられます。中央には伏見上皇の持明院殿が築かれ、その南には、後に室町殿の敷地となる菊亭をはじめとした、貴族の邸宅が建ち並んでいました。鎌倉時代の上京は、拡大する中世京都を象徴する新しい都市の中心だったと言えるでしょう。



『明月記』<(財)冷泉家時雨亭文庫提供>

上京を歩く 其の式

上京区に点在する見どころを各時代に沿って散策する6コース。マップを片手に、歴史深い街並みに出かけてみませんか。

モデルコースガイドの見方

- 立ち寄りスポットをアイコンで表示（「地図の見方」凡例参照）
- 立ち寄りスポット
- 見学所要時間
- 立ち寄りスポットの最寄りの交通機関
- 立ち寄りスポット間の距離
- 徒歩移動時間
- 最寄りのバス停までの所要時間

左上部のYのキリトリ線

花の御所と桜の御所



総合距離 約3.5km 所要時間 約2時間

この時代の北東部には足利・細川・山名・畠山といった、日本を代表する有力者たちの館が集まっていた。『洛中洛外図』をたよりに館跡をめぐりながら、日本文化の源流を訪ねてみましょう。

スタート



足利義政邸跡

5分

600m 10分



相国寺

10分

680m 10分



上御霊神社

10分

820m 13分



室町殿跡

10分

350m 5分



近衛殿跡

5分

100m 2分



本満寺跡

5分

350m 5分



細川晴元邸跡

5分

150m 2分



宝鏡寺・百々橋跡

10分

450m 8分



山名宗全邸跡

5分

ゴール

堀川上立売 徒歩2分



室町時代

『洛中洛外図』を歩く

室町時代の上京は日本の政治・文化の中心地として繁栄します。足利義満が室町に建てた「室町殿（花の御所）」と呼ばれる邸宅をはじめ、上京には多くの武士や貴族の邸宅が建ち並んでいました。室町時代から戦国時代へ突入する契機になった応仁の乱も、ここ上京に邸宅を構える守護大名たちの争いから始まります。室町時代末の京都の様子を描いたと言われる洛中洛外図には、これら邸宅だけではなく多くの寺院、町家も上京に建ち並んでいた様子が描かれており、活気にあふれる当時の上京の様子をうかがい知ることができます。

「上杉本 洛中洛外図」<上杉博物館提供>

上京

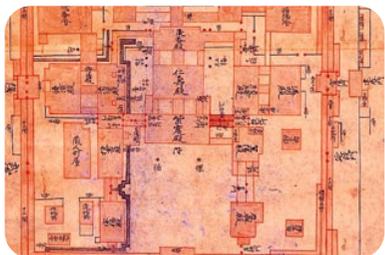
きぎかじり

平安時代



平安貴族の日々をたどる

平安時代の上京には、平安京の重要施設が集中した平安宮があり、高級貴族の邸宅も建ち並んでいました。平安宮には国家的な儀式を行なった朝堂院や国家的な饗宴の場であった豊楽院、そして天皇の住まいだった内裏があり、周辺には『源氏物語』の舞台になったともいわれている一条院や藤原頼通の高陽院がありました。一方平安京を一步外に出るとそこは異界の地です。引接寺や大報恩寺そして北野社などの寺社が周囲をとりまいています。平安時代の上京は、政治や文化の中心とその周縁の異界の地のふたつの顔をもっているのです。



「内裏図」 < (財) 陽明文庫提供 >

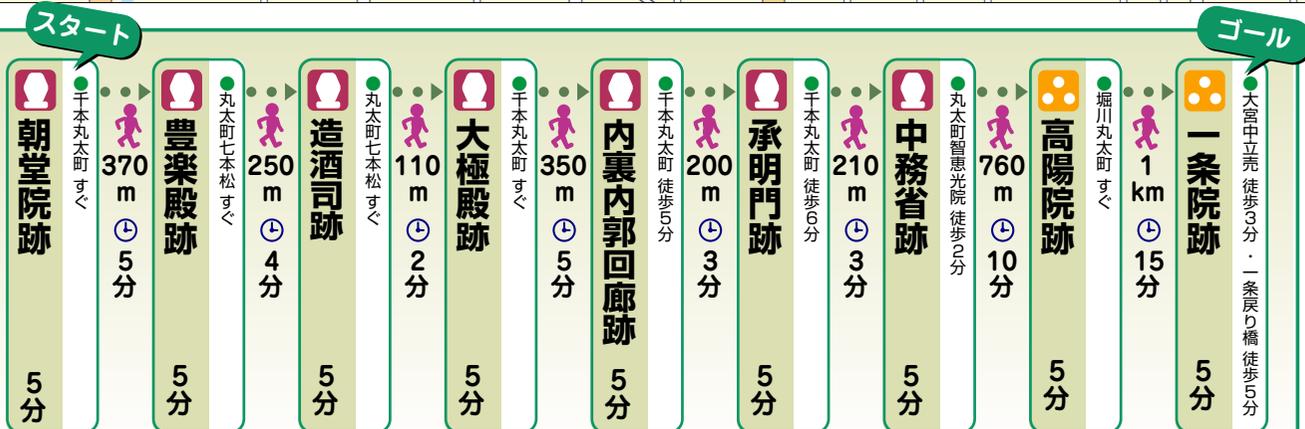


平安宮周辺を歩く



総合距離 約3.2km 所要時間 約1時間30分

西南部には、平安京の中でも最も重要な施設や邸宅が集中していました。千本丸太町周辺は、平安貴族が行き交うオフィス街、堀川周辺は閑静な高級住宅街。平安貴族の日に思いを馳せて歩いてみましょう。





上京

江戸時代

ききかじり



芸術と学問の町を歩く

江戸時代の上京では、公家とその周辺の人々によって多彩な文化が築かれています。茶屋氏のような有力町人や、本阿弥氏のように芸術を生業とする者、青氏のような鏡や西陣織に代表されるような工人たち、さらに伊藤仁斎の古義堂のように、多くの私塾も営まれました。一方幕末になり、京都守護職の屋敷や薩摩藩邸が置かれた上京は、蛤御門の変や薩長同盟などの舞台となっていきます。江戸時代の上京は、豊かな文化を開花させるとともに、新たな時代へ向かっていく動きの中心ともなっていました。



『慶応改正内裏御絵図』
 <大塚コレクション：京都市歴史資料館提供>

ものづくりの源流をたどる



総合距離 約3.8km 所要時間 約1時間50分

江戸時代の上京には、近世文化を彩った最高の芸術と工芸や食文化が創り出され、また学びの精神が育まれました。伝統と先進性が共存する京都のものづくりの源流を体感するコースです。

- スタート**

● 地下鉄鞍馬口 徒歩1分

尾形光琳屋敷跡 5分
- 地下鉄鞍馬口 徒歩3分

後藤長乗屋敷跡 10分
- 地下鉄鞍馬口 徒歩5分

後藤祐乗屋敷跡 5分
- 上京区総合庁舎前 徒歩1分

青屋敷跡 5分
- 堀川今出川 徒歩2分

本阿弥光悦京屋敷跡 5分
- 堀川今出川 徒歩3分

佐野(灰屋)紹益別邸跡 5分
- 堀川下長者町 徒歩5分

茶屋四郎次郎屋敷跡 5分
- 堀川下立売 徒歩2分

伊藤仁斎古義堂跡 5分
- 堀川下立売 徒歩2分

山崎間斎塾跡 5分

(右下部) √キリトリせん